

議事日程第3号

令和5年12月13日（水曜日） 午前9時00分 開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 一般質問（7番～8番）

出席議員（12名）

議長 大 沢 まり子	1番 鈴 木 篤 志	2番 広 川 大 介
3番 山 田 徹	5番 可 児 さとみ	6番 鈴 木 秀 和
7番 清 水 亮 太	8番 奥 村 悟	9番 伏 屋 光 幸
10番 高 山 由 行	11番 岡 本 隆 子	12番 谷 口 鈴 男

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 渡 辺 幸 伸	教 育 長 奥 村 恒 也
総 務 部 長 各 務 元 規	民 生 部 長 中 村 治 彦
建 設 部 長 早 川 均	企 画 調 整 担 当 参 事 田 中 克 典
教育参事兼 学校教育課長 筒 井 幹 次	総務防災課長 古 川 孝
企 画 課 長 山 田 敏 寛	環境モデル都市 推進室長兼 まちづくり課長 金 子 文 仁
亜炭鉱廃坑 対策室長 木 村 公 彦	税 務 課 長 丸 山 浩 史
住民環境課長 高 木 雅 春	保険長寿課長 大久保 嘉 博
福 祉 課 長 日比野 浩 士	農 林 課 長 渡 辺 一 直
上下水道課長 可 児 英 治	建 設 課 長 石 原 昭 治
会 計 管 理 者 塚 本 政 文	生涯学習課長 日比野 克 彦

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 土 谷 浩 輝	議 会 事 務 局 書 記 井 戸 芳 枝
----------------	-----------------------

開議の宣告

議長（大沢まり子君）

おはようございます。

ただいまの出席議員は12名で、定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付しました議事日程のとおり行いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

なお、本日の会議は、インターネット配信用にビデオカメラによる撮影をいたしますので御了承ください。

また、岐阜新聞社可児支局様より撮影の依頼がありましたので、これを許可いたします。

会議録署名議員の指名

議長（大沢まり子君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、5番 可児さとみさん、6番 鈴木秀和君の2名を指名します。

一般質問

議長（大沢まり子君）

日程第2、一般質問を行います。

町政一般に対する質問の通告がありましたので、受付順序に従って発言を許します。

なお、質問、答弁とも簡潔明瞭にされるようお願いいたします。

2番 広川大介君。

2番（広川大介君）

おはようございます。

通告に従いまして、御嵩町ファンクラブに関連して幾つか質問させていただきます。

既に御嵩町ファンクラブの債務負担が組まれており、町長の一刻も早く進めたいという気持ちが表れているかと感じています。御嵩町を知り、興味を持ち、来訪してもらうきっかけづくりを目的とした本事業は、御嵩の人口を増やすことを公約としている私にとってもなくてはならない取組であり、何とか結果の出る形にしたいと思っております。

そこで、まずお尋ねします。

御嵩町ファンクラブの事業の進捗状況はいかがでしょうか。まだ債務負担の段階ですから、調査状況やざっくりとした方針でも結構ですので動きを教えてくださいたいと思います。

御嵩町ファンクラブは、御嵩を知らない人に知ってもらい来てもらおうとする取組ですが、御嵩町は残念ながら有名な観光地ではありません。そもそも御嵩という地名を知らない人がほとんどなわけです。この状況でどうやって魅力的な情報を発信していくのか、これには町民もこの御嵩町ファンクラブを積極的に利用していく必要があると思います。町民が活用し、町長もおっしゃっている共創で町民と一緒に作り、町の内部から盛り上がってこそ外部に対しての影響力を持つことができると思うのです。

そこで次の質問です。

御嵩町ファンクラブを町民にとっても有用な情報発信媒体とすることについて、町長はどのようにお考えでしょうか。

さて、私は自身の仕事で、大阪のグリコの看板で有名な戎橋筋商店街のえびなびというスマホアプリを企画、開発、運営しています。運用を開始してちょうど2年ほどになりますが、現在ユーザー数が約1万6,000名で、商店街の公式アプリとしては日本最大級のユーザー数となっています。コロナの影響で観光客がほぼいなくなったタイミングで、観光客だけでなく地元の人にもしっかりと商店街を活用していただくという意図で開発したもので、商店街にあるほぼ全ての店舗がアプリに参加し、近隣住民を中心に便利にお得に活用していただいています。

このえびなびをホームページの情報提供ではなくスマホアプリにした最大の理由は、プッシュ通知機能を使ってプッシュ型の情報提供ができるからです。えびなびでは、最初に生年月日と性別だけ登録してもらうのですが、例えば新しいプリクラ専門店の情報を10代の女性のみに配信するなど、ユーザーの年齢層や性別ごとに最適な情報だけをプッシュ通知にて提供しています。これにより有用な情報が不要な情報に埋もれてしまうことがなく、マーケティング媒体として高い反応率を得られているのです。

そこで考えました。御嵩町ファンクラブをアプリにしたら、何ができるでしょうか。ユーザーに興味趣向などを選択しておいていただければ、例えば観光したい人にはその情報を、ボランティアをしたい人にはその情報を、広見線に乗りたい人にはそのイベント情報を、移住を考えている人には空き家情報をなど、その人が必要としている情報だけを絞り込んで提供できることができます。

また、町民向けのコンテンツを充実させ、町民にダウンロードしてもらえれば、便利な情報などだけではなく、災害時の情報発信などにも使えますし、子育て世代には子供のイベント情報を、料理好きの人には料理教室の情報をなど、町民がより御嵩町を楽しむことができます。アプリであれば、情報過多のホームページや届かない世帯もある回覧板などと違い、個々の町民にマッチした情報を直接届けることができるのです。

さらにアプリならではの発展性が幾つもあります。1つは、電子クーポン機能です。QRコ

ードで利用できる金券にして、地域通貨のように使うこともできますし、店舗の割引クーポンなどを配布することもできます。これもえびなびには実装していきまして、初回登録ユーザーに商店街内で利用できる500円の電子クーポンを提供することでユーザーを増やしていききました。

また、投稿機能も搭載できます。町民が近隣に咲いている季節の植物の写真を投稿したり、参加したイベントの様子を投稿していけば、外部の方から見て、とても楽しく暮らせそうな町に見えるのではないのでしょうか。さらに最近、ライドシェアの法整備も議論されています。もしライドシェアが可能になれば、高齢者の方や上之郷にお住まいの方などの交通の問題が著しく解消されると思われます。これもアプリなら、スムーズに導入することができるでしょう。

そこで、まとめの質問です。

アプリならではの機能や発展性を鑑み、御嵩町ファンクラブをホームページではなくアプリとして提供することについて、町長はどのようにお考えでしょうか。

以上、質問は3つとなります。御答弁のほどよろしくお願いいたします。

議長（大沢まり子君）

総務部長 各務元規君。

総務部長（各務元規君）

おはようございます。

それでは、広川議員の質問に、町長が御答弁を申し上げる前に少しお時間いただきますのでよろしくお願いいたします。

私からは、御嵩町ファンクラブのアプリ化についてと題しての最初の質問、進捗状況について答えさせていただきます。

ファンクラブ立ち上げに当たり他の自治体での取組や運営方法などを研究する必要があることから、県内の先進地であり、様々な取組の成功事例を持つ飛騨市ファンクラブを視察してきました。飛騨市のファンクラブは、地域外との人との交流を目的に市のPRをお手伝いする仕組みや地域通貨、オンラインショップなどに取り組んでいます。今では地域課題を解決したい側と解決に向けて知識や技術、マンパワーを使って助ける側のマッチングを行うヒダスケの創設や産官学連携による人口減少の未来のコミュニティの研究も行っています。

このようにファンクラブからさらに深化した関係人口の増加への取組を参考にしながら、御嵩町のファンクラブとして、どのようなスキームにしていくか、現在検討を進めているところです。

また、飛騨市の担当者からはファンクラブを最初にアナログで始めたことで業務の効率化に大変苦労されたようで、最初からデジタル化をすべきとの助言をいただいたところです。これらの意見を踏まえて、来年度の予算化に向けて整理をしているところです。

以上で、私からの答弁とさせていただきます。

議長（大沢まり子君）

町長 渡辺幸伸君。

町長（渡辺幸伸君）

おはようございます。

それでは、広川議員の2つ目の質問にお答えしたいと思います。

ファンクラブのこの取組は、御嵩町を知らない町外の方に向けて魅力や特産品など、効果的な情報を発信することで、観光や地域交流を深め関係人口を増やしていく重要な発信ツールという一面がございます。また一方で、町民が今まで気づかなかった町の魅力の再発見につながったり、関係人口が増えることで町外からの目線で御嵩町を知る機会になるなど、広報誌などにはない新しい発信ツールになると考えております。さらには、移住などを検討している人にとっても、御嵩町を知ってもらえるための便利なツールになるとも考えております。この取組は、御嵩町に興味関心や関わりを持つ人などをファンクラブへの加入という形で見える化し、ファンクラブを通じた町内外の人の交流を図り、地域課題の解決、地域の継続へとつなぐ手段でもあると言えます。

御嵩町を盛り上げていくのは町民や行政に限ったことではございません。町外に住む方であっても同じ思いがある方々には、ファンクラブを通じて町に積極的に関わっていただきたいと考えております。また一方で、町民にとっても広川議員の御指摘のとおり、有益なものになるものと考えております。そのためには、町民に向けても、それから町外に向けても情報発信ができるような手法、あるいは運用や発信の内容を含めて検討を進めていきたいと考えております。

3つ目の質問についてお答えいたします。

ファンクラブを設立・運営するに当たっては、ホームページで運用するのか、あるいはアプリを構築・導入するのか、当初の段階からコスト面や運用面など、様々な角度から検討をしております。今や若者から高齢者まで多くの方がスマートフォンをお持ちであり、LINEやフェイスブックといった既存のSNSには既に多くのユーザーがございます。そこで、独自アプリで一からユーザーを獲得するより、多くのユーザーがいるSNSを活用したほうが、より広く情報を発信できるのではと考えて、一般会計補正予算（第2号）では、ホームページとSNSの運用によるファンクラブ運営を想定して債務負担行為を設定させていただきました。

今回、議員からは具体的な事例を踏まえてアプリの活用の御提案をいただいております。これまでそういった分野に明るい職員も少なかったことから、町といたしましてはアプリの有効性などについて専門的な比較検討を行っていないのが実情でございます。ファンクラブの形や

活動内容等を走りながら考える中、議員のように特に専門的な知見から助言や御協力をしていただけることは大変ありがたいことだというふうに考えてございます。今後のファンクラブ運営にとっては有益なことと考えられますので、アプリとホームページの二者択一ということではなくて、それぞれのメリット・デメリット等を比較しながら、しっかりと検討してまいりたいというふうに思っております。こうした検討を深め、進め、ファンクラブがより広く多くの方に活用されるよう、よりよい仕組みをつくってまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

〔2 番議員挙手〕

議長（大沢まり子君）

2 番 広川大介君。

2 番（広川大介君）

御答弁ありがとうございます。

大変前向きなお答えをいただいたと思います。追加の質問はございません。

私が、町長もおっしゃっていただいたように、ある程度専門的な知識や経験がございますので、執行部の皆さんにはぜひお気軽に私を使っていただいて、質問でも何でも来ていただけたらと思います。

1 つ補足ではあるんですけども、グーグルという会社というかサービスがありますよね。皆さん、あれは検索エンジンと認識されていると思うんですが、グーグルの今思っている最大の目標というのは、検索のない世界をつくるということなんですね。検索エンジンが検索のない世界をつくるというのはどういう意味かという、検索する前にその人が必要な情報を届けてしまおうという取組なんです。だから、今スマホを使っていると、ふだんの使っている履歴なんかを利用して、この人はどういう傾向の趣味趣向があるんだとか、どの程度の年齢層、あるいは性別なのかということを多分向こう側は分かっている、検索する前に興味ある情報が勝手に来たりするじゃないですか。だから、それはどういうことかという、情報発信の在り方が検索しに行く、欲しい情報を探しに行くというよりも、必要な情報が向こう側から降ってくるということに変わりつつあるんですね。

御嵩町のホームページを見ると、ほぼ全ての情報が現在多分載っていると思うんですが、見る人にとってどういう情報が必要なのかというのが意図されていないと。だから、例えば高齢者の方には高齢者向けの情報を、子育て世代には子育て世代向けの情報を運んであげるようなイメージでの情報発信というのを取り組むと、よりよい町になるんじゃないかなあと考えています。その一助にこのアプリは十分なり得ると思いますので、そういった面でも検討いただけたらと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

質問は以上になります。ありがとうございました。

議長（大沢まり子君）

これで、広川大介君の一般質問を終わります。

続きまして、1番 鈴木篤志君。

質問は、一問一答方式の申出がありましたので、これを許可いたします。

1番（鈴木篤志君）

おはようございます。

議長のお許しをいただきましたので、通告書に基づき質問をさせていただきます。

私からは今回2件のお題に沿って質問をさせていただきます。

まず、1件目は、御嵩駅周辺のまちづくりについて質問をさせていただきます。

名鉄広見線の終着駅である三角屋根が特徴の趣のある駅舎の御嵩駅、その御嵩駅を出ると、目の前には歴史ある中山道と願興寺、そして駅南側の駅前ロータリーの中にあるさんさん広場、今年度はアフターコロナという言葉が全国的に響き渡り、御嵩町内でもコロナ禍以前のにぎわいを徐々に取り戻しつつあります。外国からのインバウンドは、SNSなどで人気があるスポットには数多くの外国人旅行者でにぎわっていますが、逆に注目をされていない地域では想定よりも来客が少ないという問題もあるそうです。

御嵩町内でも中山道を歩く外国からの旅行者が少しずつですが戻りつつあると伺っております。わいわい館やみたけ華ずしのSNSを見ると、定期的に外国からの旅行者の方々の様子をアップされていて、御嵩町の魅力が海外の方たちにももっと伝わるような投稿をされています。御嵩駅から歩く海外からの旅行者の方を見ると、大体スマートフォンを見てどちらへ行けばよいか調べています。また、先日のことですが、朝早い時間帯に四国から自転車で来た観光客の方に、駅前からどちらに行けば中山道ですかと話しかけられました。駅を降りてすぐ目の前、願興寺の西側に立派な案内板はありますが、まだまだ町外からの来訪者に向けた改善点や工夫できることがあるのかと考えます。

こうした中で、駅前さんさん広場では、御嵩町内外の有志によるまちづくりとしてイベントやお祭りなどの催物を行い、御嵩町の活性化に一役買っていていただいています。毎月第1日曜日には宿の市、冬場はお休みですが、第3土曜日の夜にはエコビアガーデン、先月11月4日に行われた中山道往来では御嶽宿をスタートとゴール地点として、また10月末に行われた第26回よってりゃあ、みたけ宿場まつりでは、御嵩町商工会青年部を中心にたくさんの有志の方々の力で広場を含む駅周辺は大変盛り上がりしました。

今紹介したイベント以外でも催物がありますが、ほかにも毎日朝6時半からは地域の方々が集まってラジオ体操を実施し、雨の日でも東側の屋根がある通路側で元気に体操をしていて、

地域住民の憩いの場として利用されています。

このさんさん広場ですが、南側にはソーラーパネルが設置されていて、その下はイベント時にはお店を出す出店スペースとして利用されています。ところが、このソーラーパネルは日差しを防いではくれますが、隙間があることから雨を防ぐことはできません。イベントがある日には開催時間の二、三時間前からボランティアや役場員の方々が設営準備に集まり、広場東側のコンテナからテーブルや椅子、雨や日差しの強い日にはタープテントを出して準備を始めます。しかし、タープテントだけでは100%雨を防ぐことはどうしてもできません。そのため、雨の影響でイベントを中止にすることもあります。また、雨よけのタープテントを多く設置する際には、人手も必要ということもありますが、濡れたテントをそのまま片づけることができないことから、翌日以降に乾かす手間はふだんは仕事をしている方々からすると、とても大変なことです。多くの可能性に満ちあふれ、これからますますの盛り上がりを見せてくれる御嵩町、その御嵩町が大好きな有志が数多くいる今だからこそ、この町のよい部分をさらによくしていくべきではないでしょうか。

前置きが長くなりましたが、ここからが私の質問です。

1つ目、御嵩駅に到着した旅行者、海外からの旅行者も含みます、その方たちに対して、案内などの掲示、設置は必要な人に対して丁寧で十分説明が足りていると思われませんか。

2つ目、海外からの旅行者に対しての御嵩町の案内、ガイドブックやホームページ、SNSなどを町としてはどれだけ把握されていますか。また、それを利活用されていることがあれば教えてください。

3つ目、駅前さんさん広場のコンテナや防犯カメラでの設備、コンテナ内の備品の管理はどのようにされていますか。使用状況なども把握されていますか。

4つ目、イベント運営、出店者から要望の声が多くありますが、雨が降り込んでこないさんさん広場に屋根、この設置は考えていないでしょうか。回答よろしくお願いいたします。

議長（大沢まり子君）

総務部長 各務元規君。

総務部長（各務元規君）

それでは、鈴木議員の質問にお答えさせていただきます。

町外から来る人たちに向けた駅周辺の整備状況と題して4つの質問をいただいております。

質問の1つ目、観光客に対する案内についてです。

今年度に入り、中山道を歩く外国人は増加しており、その多くは御嶽宿から次の宿場、細久手宿まで歩いていくツアーです。御嶽宿周辺や中山道の道中には、幾つか案内看板を設置していますが、外国人向けの案内は英語表記のものが僅かにある程度です。訪れた観光客に対して

は、情報を獲得しやすくなるよう、御嶽宿周辺でフリーWi-Fiを整備したほか、御嵩駅の御嵩町観光案内所と御嶽宿わいわい館において各種パンフレットを用いて、それぞれの求めに応じ案内を行っています。しかし、外国人向けのパンフレットや動画の種類が少なく、今の状況では探しにくいいため、各施設等の案内看板に動画に対応した2次元コードを掲載するなど、今後の対応を研究していく必要があると考えています。

次に、これまでも定例会においてSNSなどによる情報発信についてお話しさせていただきましたが、海外向けとなるとハードルは高くなります。以前は、みたけ華ずしさんとともに、県の海外プロモーションに連携してフランスに渡航し、御嵩町を海外にPRする取組を行ったこともあります。今でもみたけ華ずしさんは、体験で訪れた外国人の様子をSNSで積極的に発信され、大変御協力をいただいています。また同様に、わいわい館でもInstagramで積極的に発信して、町のPRに努めています。旅行会社へのアプローチについてもインバウンド客向けのツアーを運営する会社2社とは、わいわい館利用の調整や御嵩町の情報が伝えられるよう連携を取っています。また、岐阜県が民間の旅行会社と連携し、中山道沿線を活用した新たなインバウンド向けツアーを企画しており、町は体験や飲食、宿泊ができる場所等を提案しているところです。引き続き海外の方に向けて情報が届くように発信に努めてまいります。

次に、御嶽宿さんさん広場の設備、備品の管理状況についてです。

さんさん広場の備品等は、まちづくり会社の所有するコンテナを借りて町が管理しています。備品はさんさん広場で開催する町のイベント等に使用するほか、借用の申請があれば、各団体にも貸出しを行っています。使用に当たっては、各団体で適正に使用するようお願いしていますが、屋外での使用のため、劣化や破損もあり、危険なものがあつた場合には、使用中止や撤去など、その都度対応しながら管理しています。

最後に、さんさん広場の屋根の設置についてです。

議員の説明のとおりさんさん広場には屋根はなく、雨天の場合にはコンテナ内のテントを利用して対応をいただいています。これまでもさんさん広場の利用団体から屋根の設置を求める声が町に寄せられており、町としてもこうした団体の要望に向き合うため、開閉式テントや全天候型大型テントなどを活用している事例を視察し、検討を行ってきました。設置については、防災などの多面的な活用方法を含めて、今後も研究してまいりたいと思います。引き続き利用者の意見や提案に耳を傾けながら、町の魅力を高め、町の活性化に取り組んでいただいている団体がさんさん広場を活用しやすくなるよう、支援、協力をしていきたいと考えています。

以上で、私からの答弁とさせていただきます。

〔1 番議員挙手〕

議長（大沢まり子君）

1 番 鈴木篤志君。

1 番（鈴木篤志君）

御回答ありがとうございます。

先月行われた議会住民懇談会でも名鉄広見線の利用者を増やすためにということで、さんさん広場をもっと活用するという案が出ていました。名鉄広見線に乗って、町外の方々にもたくさん来てもらえるようにということで、町民の皆様が手を取り合い楽しく活動しやすいという、駅前周辺の起点に御嵩町がますます盛り上がる政策、魅力あるまちづくりを期待しております。

1 つ目の質問はこれで終わります。

次の話題、2 件目に入らせていただきます。

2 つ目は、町の安心・安全につながる防犯カメラの件で質問をさせていただきます。

私は毎朝 7 時から御嵩駅前で子供たちの登校の見守りをやっています。そんな中で気になるのが交通ルールを守らない車です。スピード違反もそうですが、駅前ロータリーを逆走する車が出て、大変危機感を覚えます。交通ルールを守らないのは一部の車ですが、日中も私の妻が子供と近所の方が散歩をしているときも危険な車を度々目撃します。子供の安全はもちろんのことですが、お年寄りの方がお散歩をするときも大変危険なことだらけです。

そんな地域の見守りを強化するために、防犯カメラの設置を進めている自治体が日本国内には多数あります。設置した自治体の理由としては、児童や学生の通学の見守り、事故や犯罪の抑制、公共の場の景観を守るということです。見守りは危険箇所、人物に限らず、昨今話題になっている熊や野生動物の監視もいち早く対応しなければならないことから必要と考えます。

公共の場に落書き、学校のグラウンドに犬のふんを放置していく人がいるという話も聞きましたが、手がかりもなく、注意すらできない場合もあるとのこと。最近では、可児駅前で若い世代が集まり、いわゆるたまり場となっていることから、駅利用者にとっては不安や懸念の声も聞こえてきています。御嵩駅でも同様の問題が起きないと言い切れません。

一昔前と比べると、カメラの性能もよく、設置するためのコストも大分下がっていることから、家庭、店舗、事業所でも導入されている方が大変多く、それだけ不安があるのではないのでしょうか。これから観光を盛り上げて旅行客を増やし、魅力を発信して、移住者を増やし、ますます御嵩町を盛り上げていくのであれば、安心・安全なまちづくりは大前提です。

ここからが質問です。

1 つ目、現在御嵩町として管理している防犯カメラの設置箇所、設置台数をお答えできる範囲で教えてください。

2 つ目、今後御嵩町として町内に防犯カメラの増設予定、設置する案はありますか。

3 つ目、ネット回線につながる端末さえあれば、リアルタイムでどこからでも監視可能な I

C Tを活用した防犯カメラのシステムを導入する予定はありませんか。

4つ目、御嵩町では自治会などの防犯灯設置事業補助金がありますが、防犯カメラの設置補助金は県内ほかの市町村と比べて御嵩町にはありません。何か検討をされていますでしょうか。御回答のほどよろしくお願いいたします。

議長（大沢まり子君）

総務部長 各務元規君。

総務部長（各務元規君）

それでは、町内の防犯カメラ設置状況についてと題しての4つの質問に答えさせていただきます。

近年、コンビニ、ドラッグストアなどの商業施設やマンションなどに防犯カメラの設置は当たり前となりました。また、技術の進歩とネットショッピングの普及により、個人宅にも設置が進んでいるように思います。日本全国では、500万台を超えたと言われており、防犯カメラはどこにでもある存在となっています。

それでは、質問の1点目、防犯カメラの設置箇所、設置台数についてです。

町が設置した防犯カメラは次のとおりとなっています。町内小学校に13台、町内中学校に12台、御嶽宿さんさん広場と中山道みたけ館にそれぞれ3台ずつ、前沢湿地に4台、平芝エコロジーセンターに2台、南山消防グラウンドと防災コミュニティセンターにそれぞれ1台ずつの合計39台であります。

次に、質問の2点目、今後の防犯カメラの増設、設置案についてです。

町が設置した防犯カメラは、いずれも町の財産を守る目的で設置したものであります。議員が言う一般的な防犯カメラは、住民を巻き込むような事故や犯罪被害を未然に防止するなどの役割があり、その有用性は認められているところです。町では、ふだんから職員による青色回転灯パトロールや地域安全指導員による防犯パトロールを含めた地域の方の見守り活動を行っており、近年では刑法犯罪認知件数も減少傾向で推移しています。地域の安全・安心は地域で守る、そんな自主的な活動が重要であると位置づけておりますので、今後の刑法犯罪認知件数などにも引き続き注視しながら、必要に応じて検討してまいりたいと思います。

続いて、質問の3点目、ネット回線を利用したI C Tを活用した防犯カメラの設置についてです。

I C Tを活用した防犯カメラの設置については、防災コミュニティセンターの屋外に1基設置しております。これは家庭用の安価なカメラではありますが、W i - F iを利用することにより、録画機能のほかに、リアルタイムで映像確認、方向転換やズーム機能なども備わっています。防災コミュニティセンターのようにインターネット環境があれば、導入しやすいですが、

ネット環境のない場所では、環境構築にかかる費用、維持費など、費用対効果も検証する必要があり、防犯カメラの必要性も含めて検討していきたいと考えています。

最後の質問、防犯カメラ設置補助金についてです。

この件は、車座懇談会の場においても、自治会が設置する際の補助メニューの拡充など、御意見をいただいております。こうした御意見がある一方で、監視されているという住民のプライバシーへの配慮を求める声もあります。防犯カメラが増え、犯罪抑止につながり安心される方もいれば、配慮が足らず盗撮などの疑念を持たれ、新たなトラブルが発生する懸念もあります。このようなことから、制度を導入するに当たっては、自治会内での防犯カメラに関するガイドラインなど、運用面についての十分な準備期間が必要であり、管内の制度導入状況や自治会などの団体内での合意形成の状況などを踏まえて慎重に検討していきたいと考えております。

以上で私からの答弁とさせていただきます。

〔1 番議員挙手〕

議長（大沢まり子君）

1 番 鈴木篤志君。

1 番（鈴木篤志君）

御回答ありがとうございます。

現状の説明、今後の課題とともによく分かりました。やはりプライバシー問題というのが大きな課題ではないのかなあとは思っております。

ちょっとここで1つ追加でお聞かせください。

先日、私たち御嵩町議会では、町民フリースピーチが開催されました。皆様御存じかもしれませんが、御嵩町に携わる方々が議場で自由にスピーチができる大変貴重な場です。今回は町内から全4組の方々に参加いただき、御嵩町に対して様々な思いを語っていただきました。そのうちの一つに、小学校の女子児童2名によるスピーチで、彼女たちは毎週日曜日の朝に行われている町内の清掃ボランティアについて語ってくれました。どうすればごみを不法投棄する人たちがいなくなるのか、そんな中で防犯カメラを設置してはという話もあり、とても真剣に語っていただきました。この内容は、御嵩町議会のユーチューブチャンネルで見ることができますので、ぜひ御確認いただければと思っております。

防犯カメラに限った話ではありませんが、こういった子供たちから町に対して安全面の要望など、そういったものは過去にありましたか。よろしくお願いします。

議長（大沢まり子君）

総務部長 各務元規君。

総務部長（各務元規君）

具体的に防犯カメラの設置の要望ということで、基本的な要望のスタイルというのは、自治会長を経由して要望いただくというのが通常になっておりまして、そういった形での要望というのは、今のところ1件も上がってはきておりません。ただ、答弁の中でも申し上げましたように、車座懇談会の中でも、そういった意見が出たというのは事実ですので、そういった潜在的な声があるということは認識はしております。

〔1 番議員挙手〕

議長（大沢まり子君）

1 番 鈴木篤志君。

1 番（鈴木篤志君）

ありがとうございました。

防犯ということは、何か起きてからではやっぱり遅いので、犯罪を未然に防ぐという意味からも、ぜひとも前向きに進めていただければと思っております。

きれいな町イコール安心・安全な町というイメージにもつながります。我々御嵩町議会も常にきれいなイメージで、御嵩町のために全力で働いてまいりますので、ぜひともよろしくお願いいたします。

以上で、私からの一般質問を終わります。

議長（大沢まり子君）

これで、鈴木篤志君の一般質問を終わります。

散会の宣告

議長（大沢まり子君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

次の本会議は12月15日に開会いたしますので、よろしくお願いいたします。

これにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前 9 時40分 散会

上記のとおり会議の経過を記載して、その相違のないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 会 議 長 大 沢 ま り 子

署 名 議 員 可 児 さ と み

署 名 議 員 鈴 木 秀 和